



令和元年度 高校第2学年 学年通信
第8号 令和元年11月8日(金)発行

～「クオーレ」とはイタリア語で『心・ハート』という意味です。～
この1年間みなさんの「心」の成長を期待しています。

中間考査の結果はどうか?なぜ勉強をしなければいけないのか、何のために勉強するのか、勉強することが将来に役立つどんな力を育てくれるのか、そんな疑問を持っている人はいませんか。

勉強することで身につく力はいろいろありますが、その1つに「思考力」があります。ヒントをもとにし答えにたどり着く問題に取り組むことで、「もしかしたらこうなるかもしれない」と推理する力を鍛えます。きっと難問に直面しても、あきらめずに考え抜く力となっていくことでしょう。

この「思考力」は、日常生活でも生かされてきます。物事を順序立てて考えたり、思っていることを相手にわかりやすく伝えたり、今後ますます必要とされるコミュニケーション能力を育むことに繋がるのです。そして、これから経験する様々な問題に、「このケースはこうなるかもしれない」と推理して取り組む力へと発展していくのです。何でも一生懸命取り組むことに無駄はありません。ただ単に知識を身につける時代は終わりました。知識を応用する「思考力」を身につけ、社会で活躍できる人となることを期待しています。

11月の行事予定

- 11月 8日(金) 漢字検定(16:30～)
- 9日(土) 休業日、土曜特別学習会(特進)
- 12日(火) カウンセリング予定日
- 15日(金) ニュース時事能力検定(放課後)
- 16日(土) 休業日、土曜特別授業(特進)、数学検定
- 17日(日) 危険物取扱者試験
- 20日(水) 金沢大学見学会(特進)
- 21日(木) 芸術鑑賞会(2限授業)
- 22日(金) 学校評価事業(午後)
- 23日(土) 勤労感謝の日
- 24日(日) 中国語検定
- 25日(月) ビジネス文書実務検定
- 26日(火) 期末考査時間割発表(部活動停止～12/5)、カウンセリング予定日
- 29日(金) QU検査(6限目)
- 30日(土) 考査前学習会(全校登校日)



秋季遠足研修

10月29日(火)、京都で秋の遠足研修が行われました。遠足の1コマを、生徒のみなさんの感想と写真でまとめてみました。

1組

事前準備をしっかりとっていたことで、京都ではスムーズな班別行動ができました。時間の都合上、バスからタクシーに手段を変えることで、時間に大幅な余裕が生まれたり、細い道を通って京都らしい町並みを見ることができたりしました。事前に行程をしっかりと練り、多少のハプニングにも心の余裕を持って対応できるようにしておくことで、沖縄でも存分に楽しみたいと思います。(Y.U.)



2組

今回初めて京都に行きました。教科書で見たことのある古き良き町並み。その横を流れる鴨川に沿って歩きました。たくさんの鴨が川面を泳ぐ姿がかわいかったです。また、北野天満宮は「きらびやか」、本能寺は「荘厳」という印象を受けました。建物によってさまざまな造形美があるのだなあと感じました。(Y.Y.)



3組

清水寺の周りの街並みがとても素敵で、雨の日の京都もいいなと思えました。やはり外国人の観光客がとても多かったです。どこに行っても抹茶の香りがしたので、幸せでした。(S.M.)



4組

お寺には外国人がいて、英語で話しかけて写真を頼みました。あっているかわからない英語で頼んだけど、理解してもらってホッとしました。これからもクラスのみならずいろいろな楽しい思い出を作っていきたいです。(A.S.)



5組

京都遠足での班別行動で目的地を決めることなく行ってしまったので、慌てることとなりました。このことから、今回学んだことは3つあります。1つめは計画をしっかりと立てて行動することです。2つめは友だちや先生達に迷惑がかかるので、集合時間を守ることです。3つめは遅れそうだったら前もって連絡をするということです。これらを守って楽しく修学旅行を過ごしたいです。(Y.N.)



6組

班別行動では、今までそれほど親しくなかったメンバーもいて、さらに僕が班長ということでとても心配でした。しかし、当日はみんな協力し合って、フレンドリーに行動することができたことが良い経験・思い出・学びになりました。(R.S.)



7組

僕が今回の京都遠足研修で1番心に残っていることは、班別研修です。僕たちの班は、清水寺から河原町にある八坂神社へと向かいました。八坂神社は「美の神様」が祭られていて、すごいと感じました。その後河原町に向かう途中で鴨川の景色を眺め、京都を満喫しました。昼ご飯は一蘭というラーメン屋さんに行きました。1人ひとりが個室で選ぶ形式だったので、とても新鮮でした。2月には修学旅行があるので、今回の経験をいかして有意義なものにしていきたいです。(S.N.)

